



学校だより

「みんな花笑み」

- 「知」 主体的に考え粘り強く取り組む子を育てます。
「徳」 自分を大切にし、互いの違いを認め合える子を育てます。
「体」 心身ともにたくましく生きていく子を育てます。
「公」 まちを愛し、人とつながり、ともに創造する子を育てます。
「関」 広い視野をもち、自分の思いをのびのびと表現する子を育てます。

令和4年5月31日

横浜市立菅田の丘小学校

校長 若山 京子

6月号

[水無月 June]

安心して生活するために

校長 若山 京子



校舎の周りや中庭に、花の種や野菜の苗を植えた1年生と2年生の植木鉢が並び、朝、子ども達は登校してすぐに、せっせと水やりをしています。「芽が4つも出てきたよ。」「オクラを育てるんだよ。家族みんなが好きな野菜だよ。」と、嬉しそうに教えてくれます。3年生は町探検で学校の近くの畑をぐるりと回りました。畑では昨年お世話になった農家の方を見かけて、「こんにちは。」と元気に挨拶をしていました。4年生は、理科の学習で校舎の横に置いたプランターにゴーヤの苗を植えました。今年も緑のカーテンが期待できそうです。5年生は、初めての委員会活動が始まりました。一人ひとりが委員会の当番です仕事にも責任をもち、みんなで協力して学校生活をよりよく豊かにできるように取り組んでほしいと思います。6年生は、SDGsに基づく17の視点で国際平和スピーチコンテストの学習に取り組みました。「海が好きだから、これからもずっと海がきれいであってほしい。そのために心がけていきたいこと。」など、子どもたち各自が気づいた思いをスピーチに込めました。6年生に限らず、学年それぞれの取組が、世界共通の目標SDGsにつながっていることを私たちも意識し、子どもたちの学びを支援してまいります。

先日、家の近くの狭い道を歩いていた時、前からバイクが走ってきました。住宅街の一方通行の道をバイクは逆走してきたため、ヒヤリとした経験をしました。バイクに乗っていた人が、ルールを守らなかったのか、一方通行ということを知らなかったのか分かりませんが、もし衝突していたらとても危ないな、と思いました。社会生活には、交通ルールのように命に関わるようなものから、軽微なものまで多種多様なルールがあります。学校生活にもルールがあります。ご家庭にもルールはあると思います。ルールは生活を窮屈にするものではなく、みんなが安心して気持ちよく生活するためのものです。だから、みんなでルールを理解し守ることが大切なのだと思います。ある学級でルールの話合いをしていた時、「ルールを守ることは、当たり前なことだね。」と発言していた子がいました。学校では、子どもたちにルールを守ることの大切さをしっかり理解し、規範意識を身に付けられるよう指導を続けてまいります。ご家庭でも、ルールについてお子さんとお話いただけますと幸いです。

さて、新型コロナウイルスの感染症対策としてのマスク着用についてですが、これから暑い季節に向かう中で、熱中症による健康被害のリスクが懸念されます。学校生活においては、横浜市教育委員会の通知を受け、体育時や登下校時に感染症対策をしっかりと取りながら、適宜、マスクの着脱について声をかけてまいります。子どもたちの中には、戸惑いや心配もあると思いますが、何より、子どもたちの健康、命を守ることを優先していきたいと考えております。特に、登校時については、保護者、地域の方々の声かけや見守りのご協力をどうぞお願いいたします。見えないウイルスに対しての不安などからマスクを外したくない子、理由があってマスクを着けられない子がいると思います。マスクの着脱がいじめや差別につながるよう、そして誰もが嫌な思いをしないよう、十分に配慮してまいります。どうぞご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

